

国立特殊教育総合研究所
教育相談年報

第 25 号



平成 16 年 6 月

独立行政法人
国立特殊教育総合研究所

国立特殊教育総合研究所教育相談年報刊行について（抜 粋）

1. 教育相談年報刊行の目的

本研究所における教育相談事例をはじめ、障害のある子どもに係る教育相談について実際的な情報を提供し、本研究所はもとより関係各機関における教育相談のいっそうの充実発展に資するため、教育相談年報（以下、年報という）を刊行する。

2. 教育相談年報編集ワーキンググループ委員

- (1) 年報を編集するため、教育相談委員会に年報編集ワーキンググループをおき、そのチーフは理事長が指名し、他の委員は教育相談委員会の委員より教育相談委員会委員長が指名する。
- (2) 年報編集ワーキンググループにおいては年報の内容を企画・整理し、原稿の依頼及び論文の掲載順や体裁等を整える。

3. 教育相談年報編集方針

年報は次による編集方針に基づいて毎年1回刊行する。

(1) 掲載論文等の内容

以下のような内容について掲載する。

- ①本研究所及び国立久里浜養護学校において行った教育相談の事例
- ②障害のある子どもを対象とした教育相談についての原著論文、論考、資料、展望等
- ③他機関（教育センター等）における事例
- ④教育相談事業の年度毎の統計資料等
- ⑤本研究所において行った教育相談講習会における情報
- ⑥全国特殊教育センター協議会全国大会の情報

(2) 掲載論文について

- ①前項 (1) の①②の掲載論文は、原則として本研究所及び国立久里浜養護学校職員に限る。
- ②前項 (1) の③の掲載論文は、共同研究者に本研究所等職員が含まれていることとする。

(3) 掲載論文の検討

掲載論文の採択等については、年報編集ワーキンググループで整理の上、投稿した職員の所属する部長、教育相談部長、診療部長が行い、最終決定は、教育相談センター長が行う。

序にかえて

ここに、教育相談年報第25号を刊行する運びとなった。

本年報は、当研究所で実施している障害のある子どもに係わる教育相談活動を報告し、関係諸機関での教育相談の一層の充実に資することを願って、毎年刊行しているものである。

障害のある子ども一人ひとりの教育的ニーズに応じて必要な教育的支援について、急速に地域に学校に浸透している。そうした世の中の動向の中で、小・中学校や盲・聾・養護学校においても、「教育相談」や「特別支援教育コーディネーター」に強い関心がもたれ、教育相談活動も校内で活発に取り組みられようとしている。また、本研究所でもナショナルセンターとしての教育相談センターの役割を捉えなおし、研究や研修に資する臨床活動としての教育相談、地域の教育センターや盲・聾・養護学校等を支援しうる教育相談活動を追求することが求められている。

本年報では、論考として、教育相談におけるオーディオロジーについて考えたもの、個人情報の活用と配慮の側面から教育機関における他機関との連携について考えたもの、障害のある子どもの教育相談におけるカウンセリングの役割について考えたもの、盲・聾・養護学校の地域におけるセンター的機能について考えたものの4つを掲載した。

また、年次報告として、教育相談活動の報告と教育相談講習会の報告、教育相談研究室における研究報告、第27回全国特殊教育センター協議会総会石川大会における教育相談分科会での報告を掲載した。

末筆ながら、この教育相談年報が、障害のある子どもの教育相談に携わっている方々の教育相談活動に何らかの参考となり、寄与できれば幸いである。

平成16年6月

独立行政法人 国立特殊教育総合研究所

教育相談センター長

後 上 鐵 夫

目 次

序にかえて	後 上 鐵 夫	
論 考		
教育相談におけるオーディオロジー	佐 藤 正 幸	1
教育機関からみた他機関との連携		
—個人情報 の活用と配慮について考える—	伊 藤 由 美 小 林 倫 代	5
「障害のある子どもの教育相談」における		
カウンセリングの役割に関する一考察	植木田 潤	11
盲・聾・養護学校の果たす地域での「センター的機能」.....	滝 坂 信 一	21
活動報告		
教育相談事業		25
教育相談研究室		37
第27回全国特殊教育センター協議会総会・研究協議会石川大会		
—教育相談分科会を中心に—		38
教育相談運営スタッフ一覧		40